



発行責任者
 隠岐広域連立立
 隠岐病院長
 西郷町城北町355

大腸ポリープと 内視鏡について

内科医長 末次 浩



最近の日本人の死亡原因の第一位は癌による死亡となっており、その中でも食生活の欧米化により、男女ともに大腸癌の占める割合が高くなってきています。健診や人間ドックでは大腸癌の早期発見、早期治療のために便中の潜血反応を見る検査、大腸のバリウム検査、大腸の内視鏡(大腸カメラ)検査が行われています。これらの検査を相互に組み合わせることで、ポリープや癌を見逃さないためには必要と言われています。この内、大腸内視鏡検査は直接大腸の粘膜を観察し、ポリープや早期癌があれば、その場で処置することができるため最も有用な検査、治療手段となっています。

大腸ポリープには処置の必要性の無い種類のものもありますが、放置すれば時間の経過とともに癌化するものもあります。処置の必要性のあるポリープを放置すれば、内視鏡的治療ができません。開腹外科手術が必要になります。そのため、健診や人間ドックでの便中の潜血反応を見る簡便な検査は大腸内視鏡検査をするべきかどうかを見極めるために重要なスクリーニング検査となります。また血便、下腹部痛、便が細くなる、急に起こる便秘などの症状があればすぐに医療機関を受診し、適切な検査を受けることが必要です。大腸内視鏡検査は、実際には肛門から、大腸と小腸の境目の盲腸までスコープ(大腸カメラ)



を挿入し、その後は逆方向の肛門に向かってスコープを抜きながら粘膜を観察していきます。

ます。治療の必要性のある病変があれば、スネアー(金属性の輪)でポリープの根元を縛り、高周波電流を流して切り取ります。小さいポリープであれば鉗子(金属性のつまむ物)を使って、ポリープをつかみ電流を流して粘膜を凝固し、病変を脱落させます。良性か悪性かを判定するために、切除した病変の組織を顕微鏡で見ると病理検査に出します。その結果によって、以後のフォローの予定を立てます。

大腸内視鏡検査の合併症として、重大なものには出血と穿孔(腸に穴が開くこと)です。出血はポリープを処置する際に良く起こりますが、大半はクリップと呼ばれるホッチキスのようなもので出血部位を被い止めることで、止血できます。一方、穿孔はスコープを挿入する際に、変な方向に腸に力が加わり大腸に裂け目が入ることによって起こります。この穿孔例と、内視鏡的に処置が困難な出血例では緊急の開腹外科手術が必要になります。手術が必要になることは非常に

稀ですが、その発生を100%避けることは不可能です。このような事がないように、当隠岐病院でもスタッフ一同、安全かつ丁寧に検査、処置を行っています。



大腸内視鏡検査は約2リットルの前処置液の飲みにくさ、スコープ挿入時の腹痛、腹部不快感などの欠点もありますが、早期に治療できれば開腹手術や腸閉塞などによる緊急手術を回避できるため有用な検査であり、ポリープや癌の存在が疑われる方には、検査を受けることが大切と考えられます。



理学療法 って何？ 作業療法

「リハビリテーション」最近よく耳にする言葉ですが、皆さんはどのような印象をお持ちですか？「手・足を動かす」「歩かされる」なかには「痛いもの」といった意見が一般的ではないでしょうか。確かに手足を動かしたり、歩くといったことは訓練内容にももちろん含まれますが、リハビリテーションの対象となる分野は整形疾患に留まることなく内科や精神科分野にまでもおよびます。そのため前述したようなことはリハビリテーションの中のほんの一部分にしか過ぎません。

の、「人間らしく生きる権利の回復」—「全人的復権」を意味するものです。リハビリテーション医学とは、このような高い理念を実現するための医学の学問と技術の体系であり、いわば「復権の医学」ということができます。

リハビリテーション医学に関わる職種の代表的なものに理学療法・作業療法・言語療法等があります。今回はその中でも特に隠岐病院に係る理学療法・作業療法について一般的な内容をごく簡単に書きたいと思えます。



リハビリテーションは医師をトップにチームを組み、共通の目標に向けて患者さんの治療にあたります。この目標とは身体的側面のみならず、心理的側面社会的側面(就労、環境等)を考慮したものでなければならず患者さんを包括的にサポートする為にとっても重要になってきます。また将来的な業務として、院内のみに限定されず、通院の困難な患者さん等には訪問リハビリテーションも行われるようになります。



治療場面における理学療法の役割としては基本動作(曲げる・伸ばす・立つ・座る・歩く等)の獲得を、また作業療法では応用動作(基本動作を更に発展させ、巧緻性などを高める)の獲得を主として行います。その際、障害部位のみに焦点をあてるのではなく、残された能力(障害を受けてない部位)も如何に強化もしくは維持していくかということが大切になってきます。

治療場面以外にも様々な役割があります。その中でも特に大切なものに環境設定があります。これには家族指導、家屋評価、住宅改造、職業前評価などがあります。

現在、隠岐病院では理学療法しか行われておらず、またスタッフ数も十分ではないため、前述したような業務がすべて行えないのが現状ですが、今年の四月からは作業療法も開始される予定になっています。それに伴いスタッフ数も増加していけばより充実した内容のものが提供できるのではないかと考えていますのでご期待ください。



指定金融機関の

お知らせ

隠岐農業協同組合に決定

平成十三年二月一日から、隠岐広域連合規約に基づき、隠岐病院の業務にかかる公金の出納事務を隠岐農業共同組合（JA隠岐）が取扱うこととなりました。

これは、隠岐病院に関係する業者等との取引決済の多くが金融機関によっていること、および現金の取扱に習熟した金融機関に現金出納業務を取扱ってもらう事が能率的かつ安全であることによるものです。
現金の収納業務は、既に皆様ご存じのように会計窓口においてJA隠岐の職員の方に行っております。



「おねがい」 JA隠岐職員の窓口での業務については、現金の收受のみとなっております。医療費のお問い合わせ等にはお答えできませんので、ご質問のある方は、近くの医事課職員にお声をかけてください。

ごあいさつ

この度の「隠岐広域連合」の発足に伴い、指定金融機関に隠岐農業協同組合が担当させていただきますこととなりました。

ご承知のとおり、少子・高齢化、核家族化が一層進み、将来的には三人に一人が高齢者にな

るなど、今後の介護・福祉は大きな社会問題となりつつあります。こうした問題に対応するため、昨年「介護保険制度」が導入され、併せて「隠岐広域連合」が発足されたところであります。



この発足に伴い、指定金融機関について早速ご検討いただき島内に七店舗を有する「JA隠岐」を指定金融機関とすることでご決定いただきました。具体的には、二月からJA職員を隠岐病院に派遣し窓口収納などの業務を行っているところであります。

また、三月二十六日からは、「JA隠岐どうぜん」とタイアップし「隠岐島前病院」にもJA職員を派遣することとなっております。

JAは地域の金融機関として利用者の皆様の利便性と信頼に応えるため一層の努力を重ね、ご期待に添うよう努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

隠岐農業協同組合

代表理事組合長 松本 福二



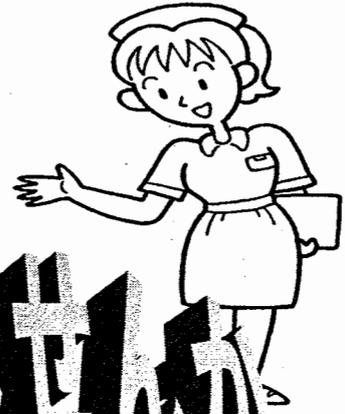
二月から隠岐病院の窓口収納業務担当として

働くことになりました。今回のような医療機関での仕事は初めてのことです、不慣れな点もありますが、皆様にご迷惑をおかけすることの無いよう努力していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

野津 奈美江



いっしょに働きたい



隠岐病院ではいっしょに働いていただける看護職員さんを募集しております。

正規職員：平成13年度中に募集を予定しております。
臨時職員：随時募集しております。

詳しくは **総務課庶務係まで TEL 08512-2-1356**

異動

採用 一月
*村上百合枝（臨時事務員）

退職 十二月
一月

- *木下 久枝（看護婦）
- *桜井 節子（看護婦）
- *池田三代子（臨時看護婦）
- *松田三代子（臨時看護婦）
- *勝部 裕美（臨時事務員）

お疲れさまでした…

おたより募集

皆様からのお便り、投稿何でもお待ちしております。

西郷町城北町三五五

隠岐病院内（まめなかの）

宛へ

E-mail

okihosp@mx.miracle.ne.jp



おとがき

昔から、「一月行く・二月逃げる・三月去る」等と申しますが、本当にそんな感じで、ついこの前年が明けたと思つたらもうポチポチ桜の便りが届くころかという時期になりました。十六年ぶりの大雪がつい昨日の事のようにですが、もう世間は春なんですね。そろそろ田仕事・畑仕事等の段取りを始めている方もいらっしゃるでしょうか。▼春と言えども一つ。フェリー岸壁が七色のテープで彩られる風景も見られるようになりました。親元を離れ独り立ちされる方、慣れ親しんだ地域・職場を離れ新任地に向かう方、色々な顔があります。▼病院も何名かの先生方が転任します。詳しくは、後ほどお知らせするとして、新任地でも頑張っていただいたいのと思います。▼「せっかく慣れてきたのに」と思われる方も居られるかもしれません。しかし、医療は継続しています。先生と一緒に離れていかれませんように、病院にはテープを張らないでくださいね。

春に浮かれて
ちよっとウキウキの M